

#花のまちづくり



#種と実ブランド



#ゼロカーボン



多彩な東神楽で 可能性が花開く

#農業

#デジタル化

#子育て支援

#移住・定住

#健康づくり



令和9年度
東神楽町採用案内

— 立ち止まることなく常に魅力ある自治体へ —

50年後、100年後の 未来のために 一緒にまちづくりを



東神楽町長
山本 進

東神楽町は、スマートウェルネス「健康政策 健康に歩いて暮らせる」・グランドデザイン「定住政策 快適な住環境の創造」・デジタルトランスフォーメーション「ICT・DX政策 デジタル技術を活用した住民サービス高質化」・ゼロカーボン「環境政策温室効果ガスをゼロにする状態を目指す地球温暖化対策」など、さまざまな政策を実行することによって持続可能な住民の幸福度向上(*)を実現、高校生までの医療費無償化、全小中学校に調理室を備えできたてのおいしい給食の無償提供などの子育て政策においても魅力の高度化を達成しています。このような総合的な政策をもとに、国勢調査において、1975（昭和50）年の人口5,109人から2015（平成27）年の40年間継続して人口が増加、2015（平成27）年には人口が1万人を超え、2005（平成17）年から2020（令和2）年までの年少人口（こども）割合が北海道内において15年間連続最大となり、「多世代が住みやすい心地よく暮らせる町」へと推移することができました。

* 北海道東神楽町の幸福度が2年連続で全国の自治体のうち第1位の
高評価 大東建託株式会社（本社：東京都港区）が発表した居住満足度 調査「
街の幸福度 自治体ランキング2024・2025 <全国版>」

当町出身の世界的な建築家、藤本壮介氏が全体監修・基本設計を手掛けた、役場庁舎・診療所・文化ホール「花音（かのん）」・音楽スタジオなど公共機能を集約する樹木に囲まれた「複合施設はなのわ」は、デジタルサイネージ・公共施設予約スマートキー（電子決済可）システム・オンラインセキュリティシステムなどを採用して令和6年8月にグランドオープンしました。町職員の仕事環境は、書かない窓口導入、マイナンバーカードを活用する住民票や印鑑登録証明書等コンビニ交付サービス、文書管理・電子決裁・地理情報システムなどのデジタル移行を実施。フリーアドレスオフィス、ミーティングスペース、パーソナルブースなど働きやすい快適な勤務空間を提供しています。

「すてきな笑顔と花のまち」東神楽町で、立ち止まることなく、常に魅力ある自治体となっていくために、時代の先端で取り組むべき政策キーワードを踏まえ、未来に向かって住民一人ひとりが幸せを感じることができる「50年後、100年後のためにまちづくりの将来像」を確実に見据えながら、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

東神楽町の組織機構

- 総務課 ● まちづくり推進課 ● 税務課 ● 暮らしの窓口課 ● 健康ふくし課 ● 産業振興課 ● 建設水道課
- 会計課 ● 教育推進課 ● 地域の元気づくり課 ● こども未来課 ● 農業委員会事務局 ● 議会事務局

東神楽町には、役場職員の親睦を目的とした「職員互助会」があり、ボランティア活動・ボウリング大会・パークゴルフ大会などが行われています。また、野球・バレーボール・サッカー・ソフトテニス・ゴルフなどの部活動もあります。



先輩職員の声



Q.東神楽で働くきっかけは？

A.私は大学進学を機に一度町を離れましたが、離れて暮らしたことで、自然の豊かさや人の温かさなど、生まれ育ったこの町の魅力を改めて実感しました。地域の力になりたい、町に貢献したいという思いから、東神楽町で働きたいと考えました。

Q.どんな業務をしていますか？

A.健康ふくし課で、福祉サービスや子育て世帯を支援する業務を担当しています。主に、相談対応や申請手続きなどを行っています。まだ仕事に慣れず学ぶことも多いですが、周囲の方々の力を借りながら、町民の皆さんに寄り添った対応ができるよう取り組んでいます。

Q.町職員を目指す皆さんへ

A.町民の皆さんとの距離が近く、やりがいを感じられる仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q.東神楽で働くきっかけは？

A.私は町外出身ですが、東神楽町のきれいな街並みや自然に魅力を感じました。より魅力的な町にしていきたいと思い東神楽町役場を志望しました。

Q.どんな業務をしていますか？

A.教育推進課の職員として、学校の健康管理事業の取りまとめなどの事務や国際交流関係を担当しています。さまざまな業務を覚えることで精一杯ですが、課内の上司や周りの方々のサポートのおかげで、一つ一つ覚えていくことができます。円滑な対応ができるよう日々取り組んでいます。

Q.町職員を目指す皆さんへ

A.皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Q.東神楽で働くきっかけは？

A.私は、町外出身でしたが、幼い頃から家族と頻りに東神楽町に訪れており、花がきれいな街並みや町民の方々の人柄、自然豊かな公園や温泉施設に魅力を感じ、この町で働いてみたいと思いました。

Q.どんな業務をしていますか？

A.くらしの窓口課に配属され、ごみについての業務や墓地の手続き、犬関係の手続き、町の交通安全などの業務を行っています。慣れないことが多くありましたが、優しく丁寧に業務を教えてくださいました上司や先輩方のおかげで毎日楽しく業務を行っています。町民の皆さんに寄り添った対応ができるように業務に取り組んでまいります。

Q.町村職員を目指す皆さんへ

A.皆さんと一緒に業務ができる日を楽しみにしています。



職場のようす



東神楽町役場は、電子決裁や会議録作成の自動化、クラウド活用、スマート施設管理など多角的なデジタル化を進めており、業務効率化と住民サービス向上を両立を目指しています。

複合施設「はなのわ」は、東神楽町出身の建築家、藤本壮介氏によって設計されました。周辺には木々を植え、環境に調和した美しい景観を演出。将来の増改築にも対応する設備を備え、完成後も地域になじみながら、新しいニーズに応える持続可能な施設を目指しています。



東神楽町について



人口・住みこころ

東神楽町は、上川管内の町村で最も人口が多い町です。『住みやすいまちづくり』や『子育て・教育』に力を入れ、人口に占める子どもの割合は15年連続道内1位となりました。また、民間企業の調査による「街の幸福度自治体ランキング2024・2025」では2年連続で全国1位となっています。



アクセス

道北の空の玄関である旭川空港は1966年に開港。東神楽町役場から車で約7分の所にあります。羽田空港行きのみならず、成田空港行きやアジア発着を中心とした国際線が就航するなど国際化・インフラ整備も着実に進んでいます。

花のまちづくり

昭和からはじまった住民を主体とした「花いっぱい運動」は「花のまちづくり」の源流となっています。現在では、自宅の庭を公開する「オープンガーデン」やボランティアによる植樹ますの手入れなど住民主体による「花のまちづくり」の取り組みはつながっています。



ゼロカーボン

気候変動問題の解決に向けて、温室効果ガスの排出を地域全体で実質ゼロにする取り組みを進めています。具体的には、ゼロカーボンについての理解の啓発、太陽光発電設備、電気自動車の充電スタンドの普及推進やペットボトルなどのリサイクルの推進などを行っています。



東神楽町公式HP 公式Facebook



東神楽TV(Youtube)

地域おこし協力隊によるチャンネル。東神楽の地域活動や住民の日常、働く人などを紹介。



観光パンフレット

東神楽の魅力をつぶりに語ったガイドブック。



お問い合わせ

東神楽町複合施設はなのわ

東神楽町総務課

北海道上川郡東神楽町南1条西1丁目3番2号

電話：0166-83-2112